

主に欧州車の販売・修理を手掛ける「オートブティック マルキ」。社長である父から、現在同社の経営を任されている白井専務は、お客様に喜んで頂くことを何よりも大切にされた経営を手掛けている。同社のスタッフの技術力は高く、「よそが修理できなくてもマルキなら大丈夫」と言われるほど、地域でも大評判だ。今回は、俳優の穂積隆信さんが同社を訪れ、白井専務にインタビューした。



可能な限り安く、早くお客様のものとへ届ける お客様本位の姿勢で欧州車を販売・修理



専務取締役

白井 秀明

愛知県出身。一九七一年生まれ。高校卒業後、東京の大学に進学。大学四年間、長期休暇の度帰郷し、「オートブティック マルキ」を含む父の会社に勤務。そして、大学卒業後、父が経営する同社に入社。二三歳の時、経営を任されるようになった。


 欧州車・各種・新車中古車販売
 
AUTOBOUTIQUE MARUI
株式会社 オートブティック マルキ

愛知県名古屋市東区百人町 72 番地
 TEL 052-931-1101 (代)
 FAX 052-931-6616
 サービス直通電話 052-931-6635

穂積 こちらではベンツやBMWなど、主に欧州車の販売を手掛けておられるとか。専務が、「オートブティック マルキ」さんの経営に携わるようになるまでの歩みをお聞かせください。

白井 ここ名古屋に生まれ、高校卒業後は東京の大学に進みました。父は当社を含め計3社の社長を務めており、私は大学の長期休暇の度に帰郷して父の会社で働いていたんです。そして、大学卒業後、本格的に父の下で働くようになり、今から10年ほど前の23歳の時、3社のうちの1社「オートブティック マルキ」の経営を任されるようになりました。

穂積 23歳で経営を始めるとは、随分お若いですね。いざ始められていかがで

したか？

白井 当然ながら経営について無知でしたので、当初はなかなか売り上げも伸びませんでした。父からもよく怒られましたね(笑)。ただ、経験と共に徐々に売り上げも伸び、おかげさまで組織の規模を当時の10倍ほどに大きくすることができました。今は残り2社の経営も父から任せてもらっています。

穂積 「オートブティック マルキ」さんの特徴を教えてください。

白井 当社では数年前より車の修理にも力を注いでいます。他社では無理なものを当社で直せることも多く、ありがたいことに技術力には定評があるんです。また、可能な限り安く修理し、早く納車す

チームワーク抜群の、家族のような経営を——

▼スタッフのことを家族同然に思い、責任感を強く持って日々経営に尽力している白井専務は、彼らとのコミュニケーションを何よりも大切にしている。「会社にいるときは、できるだけ一人ひとりのスタッフに声を掛けるようにしています」と話す言葉がそれを裏づける。

▼また、そんな専務の温かさに応えるごとく同社のスタッフたちは真面目に誠実に勤務している。

専務が「明日も明後日も仕事はあるんだから、今日は早く帰れよ」と言っても、スタッフは自ら進んで残業を選択し、懸命に働くそうだ。

▼「スタッフが頑張ってくれているおかげで当社は成り立っているのです」と笑顔で語る白井専務。チームワーク抜群の「オートブティック マル中」は、勇猛果敢で温かい経営方針を持った白井専務を筆頭に、今後益々成長していくであろう。



るよう努めています。

穂積 なるほど。車を買ったお店ですぐに修理してもらえるのは、お客様にとって安心でうれしいことですね。

白井 ありがとうございます。私は「お客様あっての会社」をモットーとして経営を手掛けています。お客様に喜んで頂くことが何よりも大切ですからね。車は高価な物ですし、お客様の持つ愛情も強い——。だからこそ当社では、確実な技術と丁寧な対応を心掛けて仕事をしているんですよ。また、お客様のほかに経営者が大事にすべきことは、スタッフの存在です。会社とは家庭のようなものだとは私と考えており、経営者にとって全スタッフは、どんなことがあっても守らなければならないかけがえのないもの——。ですから、責任が重いということを常に自覚し、日々経営に当たっているのです。経営に対するこの心構えは、父から教えられたことでもあります。

穂積 専務から見て、お父様はどんな方ですか？

白井 仕事に対しては徹底的に厳しい人ですね。私は家でも「社長」と呼んでいま

す。振り返ってみると、父とは意見がぶつかることもよくありました。しかし、意見が衝突するのは、お互いに真剣に仕事に取り組んでいるからこそこのことなので、プラスに考えています。

穂積 専務は公私共にお父様の影響を強く受けておられるようですね。

白井 ええ。ただ、当社の経営を任されてしばらくは父のことを意識し過ぎ、「こんなとき父だったらどうするだろう」と常に考えて行動していました。しかし、「真似ばかりしては自分自身が成長できない」といずれ思うようになり……。30歳を過ぎたあたりから「自分は自分

「23歳という若さで経営に取り組み始めた白井専務。経験不足による苦勞も乗り越え、会社を着実に成長させておられるようですね。現在33歳と今でもまだまだ若いですが、しっかりとした理念を持って経営に当たっておられ、素晴らしいと思います。お客様からの信頼も厚いようですね。会社がこの先どこまで発展されるのか非常に楽しみです。専務にはぜひ頑張って頂きたいと思います。陰ながら私も応援しています！ 本日はお忙しい中ありがとうございました」

だ」と考え、自分なりの経営にも積極的に取り組めるようになりました。

穂積 では、最後に今後の展望を。

白井 あまり会社の規模を大きくしたいとは考えていません。それよりもお客様と今以上に密着できる会社づくりに力を入れたいですね。父が築いた大事な会社ですから、私は3社共必死になって経営し、守りたいと思っています。そしていつかは、私の子どもや孫に引き継いでもらえればうれしいですね。



穂積 隆信 (俳優)